

●頭部MRI, MRA の実施

特に高血圧患者や血圧コントロールの悪い患者や、抗血小板薬を内服している患者、多発性のう胞腎の患者を対象に、**微小出血の有無、脳動脈瘤の早期発見・治療を目的**に検査をされることをおすすめ致します。

虚血性脳疾患

透析患者さんが脳梗塞を誘発する機序として、徐水に伴う血液濃縮と血圧低下や透析後の坐位・立位時の起立性低血圧による脳血流量の低下が影響を及ぼすと言われています。

一般的に脳梗塞の血管系の因子として穿通枝(細い血管)の閉塞による**ラクナ梗塞**、頸動脈や頭蓋内の血管狭窄、閉塞による**アテローム血栓性脳梗塞**が挙げられます。

また、脳梗塞には**心原性脳塞栓症**によるものが 3 分の 1 ほどあり。これは心房細動などの不整脈により、心臓内に出来た血栓が脳血管を閉塞させることによる脳梗塞です。一般的に血栓形成を抑制する抗凝固薬のワーファリンは、心原性脳塞栓症の一次・二次予防に有効とされていますが、脳出血の観点から透析患者さんに対してのワーファリン内服は、脳梗塞の危険性が高い場合のみきわめて慎重に施行し、定期的に血液検査を行う必要があります。

●頸部血管エコーの実施

頸動脈の肥厚やプラークが見られたら、6 ヶ月後に再検し進行速度を確認

●頭頸部 MRI,MRA の実施

陳旧性脳梗塞の確認

脳動脈、頸動脈狭窄の確認

脳動脈、頸動脈の動脈硬化の確認

●心臓超音波検査の実施

心房細動の患者は定期的に心エコーにて血栓の有無を確認